

## 発議第2号 オスプレイ低空飛行訓練に関する意見書

### 質疑

【加藤亮輔議員】

住民から出されたオスプレイ低空飛行訓練の中止を求める意見書と似ているが、大きな違いは、低空飛行訓練を中止することが含まれていない。住民への被害とか、騒音被害などは中止する以外に方法はないと思うが、なぜ中止を省いたか。

### 答弁

【津滝俊幸議員】

飛行訓練の中止は求めてはいない。オスプレイに関しては、沖縄だけに負担をかけるのはよくないと考えている。飛行訓練は日本の国内の中でどこでも国防上、やっていただいてもいいと思っている。訓練の説明はあって欲しい。住民の安全を確保すればよいと思う。

### 反対討論

【加藤亮輔議員】

県と市長会、町村会が申し出をしたが、実際に4回も5回も飛行しているが、なんの連絡も来ない。米軍司令部は報告しないと明言している。だから、中止を求めないと解決しない問題であるので反対。

## 陳情第3号 オスプレイ低空飛行訓練の中止を求める陳情書

### 賛成討論

【加藤亮輔議員】

県・市長会・県町村会の3団体の「良好な生活環境や静寂な山岳高原観光地に影響が生じる」との懸念から、オスプレイ訓練地域からの除外を望む等の要請にもかかわらず、4回も飛行させ、在日米軍司令部は無視する態度である。このままでは、白馬の上空にも飛来し、村民の穏やかな生活を守れない。また、ライチョウ等の絶滅危惧種、観光産業に悪影響が出ることから飛行中止を求めることに賛成。

## 陳情第4号 「共謀罪に新設について慎重な国会審議を求める意見書」提出に関する陳情書

### 賛成討論

【加藤亮輔議員】

共謀罪は、実行する前の「話し合い、計画」を罪に問うので、捜査員は対象者の心の中を知ることが必要になる。そのために捜査機関による電話の盗聴、メールの傍受、隠し撮りなどの違法な捜査が横行し、自由に議論する、移動する、友人に会う等、自由な市民生活がおびやかされる不安を感じる。新聞の世論調査でも、成立に反対45%、賛成33%。この陳情書は賛成、反対を含め慎重審議を求めるもので採択に賛成。

## 陳情第5号 「共謀罪」創設に反対する意見書の採択を求める陳情書

### 賛成討論

【加藤亮輔議員】

安倍政権は、道徳教育を重視した内容の教育基本法に改定し、マイナンバー法で国民を管理できる制度を作り、秘密保護法でマスコミを委縮させ、新盗聴法で運用の拡大を図り、今回の共謀罪である。

創設されれば、モノを言えない監視社会が作り上げられ、昨年創設した集団的自衛権行使と海外派兵を可能にする戦争法の本格運用である。戦争をさせない、自由を守るために、共謀罪の成立に反対。

## 平成29年度白馬村下水道事業特別会計予算

### 反対討論

【横田孝穂議員】

下水道事業特別会計予算の歳入明細の中において、分担金は110万円で、その中に下水道加入分担金滞納繰越10万円が歳入予定されている。下水道加入分担金滞納繰越金10万円についての徴収権は、時効の中断はされていないと判断され無効であり、すでに時効と判断するので反対。